

PWRC 一般財団法人 土木研究センター・システム開発研究会

切土補強土工法設計システム

GEO-SR2006

■ 概要

本システムは、日本道路公団発行の「切土補強土工法設計・施工指針（平成14年7月版）」に基づいて切土補強土の設計を行います。

■ 機能および特徴

- 無補強時の安定検討（最大必要抑止力の算定および補強時の全体安定検討も同様）
 - ・ 円弧すべり法による安定計算を行います。
 - ・ 直線すべり法による安定計算を行います。
 - ・ 地震時の検討も可能です
- 最大必要抑止力の算定
 - ・ 必要抑止力および崩壊長さの算定を行います。
- 補強材配置
 - ・ 複数ののり面工低減係数が設定可能で、同時に解析できます。
 - ・ 複数の補強材の打設間隔，打設角度，補強材長さを同時に解析できます。
- 補強時の全体安定検討
 - ・ 複数の内的安定検討および外的安定検討が同時に解析可能です。
- 検討結果
 - ・ 図を含んだ報告書スタイルの設計計算書をM s - W o r dに出力します。

■ 稼動環境

- O S : Windows Xp (Service Pack3 以降)
- ハードウェア : U S Bポート必要
- ソフトウェア : Microsoft Word 2000 / 2002 / 2003 導入必要

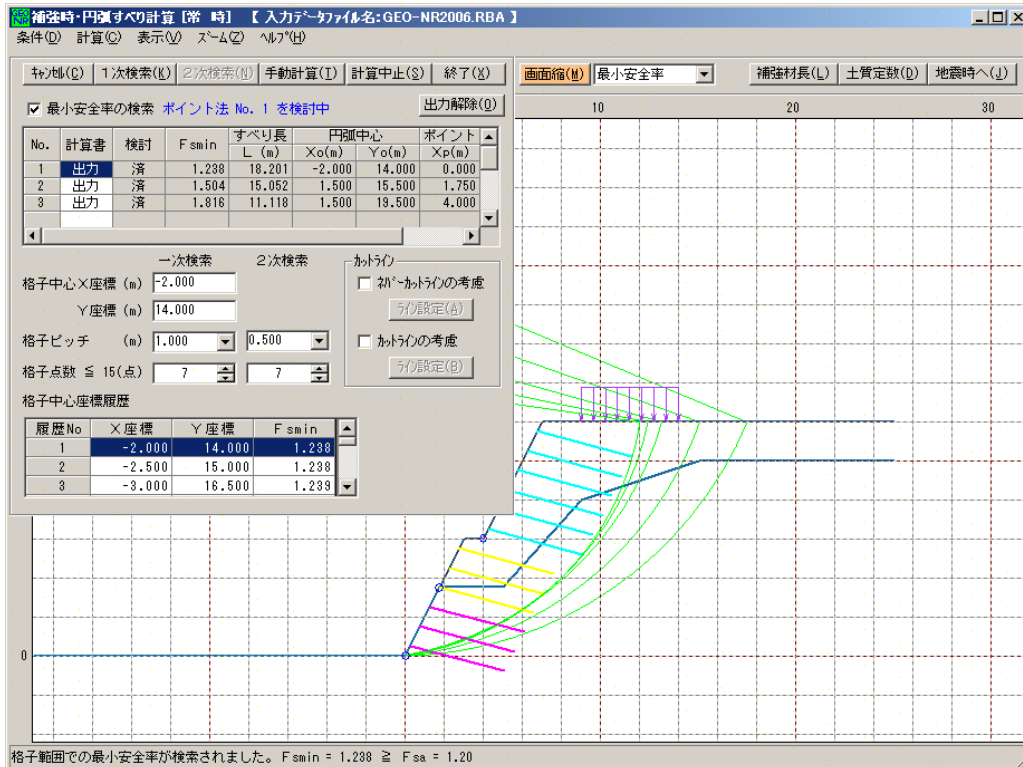
■ 販売価格 : 250,000円 (税抜き価格表示)

販売元 : **PWRC** 一般財団法人 土木研究センター
〒110-0016 東京都台東区台東1丁目6番4号 (タカラビル)
TEL 03-3835-3609 FAX 03-3832-7397
<http://www.pwrc.or.jp/>

プログラム作成 : システム開発研究会

(お問合せ先) 株式会社 エフ・ケー・シー
〒732-0052 広島県広島市東区光町2丁目11-31
復建調査設計 FGEX ビル
TEL 082-286-5177 FAX 082-286-5179
E-mail ; geo@fkco.jp

■ 入力画面およびM s W o r d出力例



格子範囲での最小安全率が検索されました。F_{min} = 1.238 ≧ F_{sa} = 1.20

5.1.4 補強材の許容補強材力

$$T_{pa} = \min (T_{1pa} , T_{2pa} , T_{sa})$$

ここに、 T_{pa} : 補強材の許容補強材力 (kN/m)

T_{1pa} : 補強材が移動土塊から受ける引抜き抵抗力 (抜け出し抵抗力) (kN/m)

T_{2pa} : 補強材が不動地山から受ける引抜き抵抗力 (引抜き抵抗力) (kN/m)

T_{sa} : 補強材の許容引張り力 (kN/m)

β_i : すべり面と補強材とのなす角度 (°)

位置 No	T_{1pa} (kN/m)	T_{2pa} (kN/m)	T_{sa} (kN/m)	T_{pa} (kN/m)	β_i (°)
1	306.6	0.0	46.8	0.0	89.99
2	306.6	0.0	46.8	0.0	84.95
3	306.6	0.0	46.8	0.0	80.47
4	306.6	0.0	46.8	0.0	75.94
5	306.6	0.0	46.8	0.0	71.31
6	306.4	0.2	46.8	0.2	66.55
7	—	0.0	46.8	0.0	60.42
8	—	0.0	46.8	0.0	55.17
9	—	35.3	46.8	35.3	49.57
10	—	85.2	46.8	46.8	43.45
11	—	151.6	46.8	46.8	36.54
12	—	243.7	46.8	46.8	28.25
				$\Sigma T_{pa} = 175.8$	

■ GEOシリーズ設計計算プログラム一覧

システム名	記号名	販売年月日	価格(税抜)
アダムウォール(補強土壁)工法設計システム	GEO-AW2015	H27年6月	300,000
補強土(テールアルメ)壁工法設計システム	GEO-RE2014	H26年11月	300,000
多数アンカー式補強土壁工法設計システム	GEO-MA2014	H26年11月	300,000
山留め式擁壁「親杭パネル壁」設計システム	GEO-OP2007	H19年9月	250,000
切土補強土工法設計システム	GEO-SR2006	H18年3月	250,000
擁壁の支持力計算プログラム	GEO-BC2004	H16年4月	80,000